

人形浄瑠璃

# 文楽

国立劇場開場50周年記念

## 初春文楽公演

平成29年

1月3日(火) - 26日(木)

※16日(月)は休演

第1部 午前11時開演

ことぶきしきさんばそう

国立劇場開場  
五十周年を祝ひて

### 寿式三番叟

おうしゅうあだちがはら

### 奥州安達原

環の官明御殿の段

ほんちようにじゅうしこう

### 本朝廿四孝

十種香の段 / 奥庭狐火の段

第2部 午後4時30分開演

そももよういもせのかじまじ

お染  
久松

### 染模様妹背門松

油店の段 / 生玉の段 / 質店の段 / 蔵前の段

◆予約開始=12月3日(土) 午前10時~

【電話】国立劇場チケットセンター(午前10時~午後6時)

0570(07)9900/03(3230)3000(一部IP電話等)

【インターネット】

国立劇場チケットセンター

◆窓口販売開始=12月4日(日) チケット完売(午前10時~午後6時)

※窓口販売用に別枠でのお取り置きはございません。

◆ご観劇料(各部・税込)

【1等】6,000円 【2等】2,400円

※学生・障害者の方は割引がございます(1等のみ)。

※車椅子用スペースがございます。ご予約時にお問い合わせください。

 **国立文楽劇場** 大阪

〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号

06(6212)2531(代表) <http://www.nijuu-gaku.jp/>

 **文化力**

【券戻り要】 詳細はチケットセンターへ

## 第一部

午前11時開演(午後3時50分終演予定)

### 寿式三番叟

こしじぶきしきさんばそう

東京・国立劇場が、平成二十八年十一月に開場五十周年を迎えたことを記念し、能「翁」を義太夫節にうつした「寿式三番叟」を上演いたします。天下太平、五穀豊稔を祈る颯爽とした千歳の舞、おごそかな翁の神舞、二人の三番叟による躍動感あふれる舞……浄瑠璃と三味線の華やかな演奏と人形の舞の妙をお楽しみください。



### 奥州安達原

おうしゅうあだらがはら

八幡太郎義家は、奥州の豪族・安倍頼時が起こした反乱を平定しましたが、紛失した神器は見出せずにいます。義家の男である平兼俊も、天皇の弟・環の宮失踪の責任を問われて苦しい立場にありました。兼俊の長女の袖萩は、正体不明の浪人(実は頼時の息子の貞任)と親の許さぬ恋に落ちたために勘当されています。禁猟を犯した罪を名乗り出た外が浜の南兵衛(実は貞任の弟の宗任)、その詮議に現れた義家、宮の誘拐事件の究明を求める勅使桂中納言則氏(実は貞任)、孫を両親に一目会わせたいと願う袖萩が雪の御殿に姿を現したことで、物語は意外な方向に向かいます。



### 本朝廿四孝

ほんちようにじゅうししこう

領地を巡って争う武田信玄と長尾(上杉)謙信は、足利將軍家の命により信玄の嫡男勝頼と謙信の娘八重垣姫を許婚としました。その後將軍が暗殺され、その責めを受けて勝頼が切腹したと聞いた姫は、勝頼の絵姿に向かつて香を焚く日々を送っています。絵姿に瓜二つの義作が現れたことに心を動かされた姫は、腰元の濡衣に義作との仲立ちを頼みます。濡衣が長尾家の重宝である諏訪法性の兜を奪うことを条件にしたことで、八重垣姫は義作こそが真の勝頼であると察します。謙信が義作に使者を命じ、続いて討手を差し向けたことを知った八重垣姫は、兜に祈願して得た通力で跡を追って行くのでした。



## 第二部

午後4時30分開演(午後7時55分終演予定)

### 染模様妹背門松

そめもよういもせのかどまつ

油屋太郎兵衛とおかつ夫婦の子である多三郎は芸妓のおいとにのめり込み、妹のお染は丁稚の久松と人目を忍ぶ仲でした。お染の婿が山家屋清兵衛に決まり、お染と久松が嘆いているところへ、大阪屋源右衛門が乗り込んで来ます。源右衛門を手引きしたのはお染に横恋慕する番頭善六で、偽物の藤原定家の色紙を使って多三郎を毘に掛けたのです。ところが、清兵衛がそのからくりを暴き、二人は散々にやり込められるのでした。

お染と久松の仲はいよいよ深く、大晦日にお互いに心中の夢を見るほどになります。死を覚悟する久松に、久松の子を宿したことをおかつに知られてしまい、一緒に死にたいと涙を浮かべるお染。そこへ久松の父・久作が故郷の野崎村から訪ねてきて、久松の説得を試みます。おかつも加わっての必死の訴えに、久松は故郷に帰ることを、お染は清兵衛との結婚を約束します。そして、久松は年が明けるとまで蔵に留め置かれることになりました。

久松への思いを断ちがたいお染は、蔵の久松に声を掛けて互いに心中の覚悟を確かめ合います。外の気配に気づいた太郎兵衛に意見され、気弱になるお染のもとへ、番頭の善六が駆け落ちを唆そうとすり寄って来ます。善六は金目の物を狙って蔵の鍵を開けた途端に久松に突き飛ばされ、その際にお染と久松は暗闇にまぎれて逃れ行くのでした。



国立文楽劇場 新春イベントのお知らせ

初日鏡開き 1/3 (火) 第一劇場開演前  
まき手ぬぐい 1/3 (火)~7 (土) (客席)  
十日戎 1/10 (火) 第二劇場開演前

幕間に、舞台より出演者がまき手ぬぐいを行います。

黒門市場からの縁起物(にらみ鯛)を披露し、文楽人形による鏡開きの後、お客様に御酒を振る舞います。

今宵戎神社の福袋から劇場に福袋が授けられます。

予約開始

12月3日(土) 午前10時~  
〈電話〉国立劇場チケットセンター [午前10時~午後6時]  
0570(07)9900  
03(3230)3000 [一部IP電話等]  
(インターネット) <http://ticket.ntj.jac.go.jp/> [パソコン]  
<http://ticket.ntj.jac.go.jp/m> [スマートフォン]

窓口販売開始

12月4日(日) チケット売場 午前10時~午後6時  
※窓口販売用は別枠でのお取り置きはございません。

ご観劇料(各都・県迄)

[1等] 6,000円 [2等] 2,400円  
(学生 [1等] 4,200円 [2等] 2,400円)  
※障害者の方は2割引です(1等のみ)。※車椅子用スペースがございます。ご予約時にお問い合わせください。※兼見席もございます。詳細は国立文楽劇場ホームページ又は国立文楽劇場チケット売場(06-6212-5845)まで。

プレイガイド 12月3日(土) 午後10時より

チケットぴあ ..... 0570(02)9999 [Pコード 449-585]  
[パソコン・携帯] <http://pia.jp/>  
ローソンチケット ..... 0570(000)407 [Lコード 51576]  
e+(イープラス) ..... [パソコン] <http://eplus.jp>  
[携帯] <http://eplus.jp/ntj>

JR西日本(京阪神地区)の主な駅のみどりの窓口  
※12月3日は午前11時から取り扱いになります。

国立文楽劇場

〒542-0073 大阪市中央区日本橋1丁目12番10号 06(6212)2531(代表)  
<http://www.ntj.jac.go.jp/>

地下鉄・近鉄(日本橋) 新下町7号出口より徒歩約1分  
※駐車場がございますのでお車でのご来場はご遠慮ください。

関西から 文化力 POWER OF CULTURE